



市長メッセージ
もりなか たかふみ
森中 高史市長の
元気ヤマモリ

実は守山は農業王国!?

6月上旬から「モリヤマメロン」の販売開始(詳細は3頁)です! ということで、今号では、農業を取り上げます。

本市の農地面積の多くを占める米・麦・大豆などを栽培する土地利用型農業は、認定農業者や法人などの担い手により支えられています。本市の学校給食は100%守山産米。パンも100%県産小麦を使用し、平成28年には当時、全国で初めて地元産小麦を使用した食パン給食を採用するなど、積極的に地産地消を進めています。また、「比叡ゆば」の守山工場では、守山産大豆を多く使用した「生ゆば」を製造しています。

廃棄していた琵琶湖の養殖真珠の貝殻の焼却灰を肥料として再利用した「びわこパール野菜・果物」は、地域の持続可能な農産物ブランドとして、一昨年度、農林水産省「ディスカバー農山漁村の宝アワード」優良事例に選定されたほか、「守山矢島かぶら」「笠原しょうが」「守山ほたる葱」など、多くの伝統野菜や特産野菜があります。

「もりやま梨」「こばまぶどう」のほか、「もりやまびわこパールいちご」「もりやま湖畔のいちじく」など、甘くておいしい果実が多く生産されています。湖岸の「びわこもり



もりやま食のまちづくりプロジェクト
「わくわく食育クラブ」

やまフルーツランド」では、夏・秋には直

売はもちろん、食べ放題の梨狩りなどが楽しめます。

菊やバラなどの花きの栽培も盛んです。昨年度の滋賀県花き品評会では、寺田 彦次郎さんが最優秀賞である農林水産大臣賞を受賞されました。

このように、特色ある農業や都市近郊に位置する優位性などから、近年は毎年度、若者が新規就農してくれているほか、次世代のモリヤマメロン農家として募集し、一昨年12月に地域おこし協力隊として着任した小島 伯斗さんは、総務省の優良事例に選ばれ、東京で講演発表をするなど活躍しています。

近年の農業を取り巻く環境は、農業者の減少・高齢化、気候変動や資材高騰など多くの課題に直面しており、市としても農業振興施策をしっかりと講じていきますが、何より、地元の皆さんに地元の農産物を買っていただくことが重要です。JAが運営する滋賀県最大級の直売所「おうみんち」はもちろん、JR守山駅の駅前総合案内所では「守山矢島かぶら」や「笠原しょうが」などを使用した加工品を取り扱っていますし、市役所の大ひさしの下では定期的に産直野菜の販売も行っています。ぜひ、安全安心でおいしい守山産農産物を買って応援しましょう!

春の叙勲・褒章・危険業務従事者叙勲 受章者

☎総務課 ☎・☎(582) 1111 ☎(582) 0539

政府から春の叙勲・褒章・危険業務従事者叙勲の受章者が発表され、市内で4人が受章されました(順不同)。



危険業務従事者叙勲
瑞宝単光章
警察功勞
さいき 齊木 俊生さん(74歳)
元京都府警部補



危険業務従事者叙勲
瑞宝双光章
防衛功勞
たにもと 谷本 正嗣さん(61歳)
元1等陸尉



叙勲
瑞宝双光章
保健衛生功勞
にしお 西尾 久明さん(64歳)
元滋賀県立小児保健医療センター
検査科 技師長



叙勲
瑞宝小綬章
警察功勞
みやもと のが お 宮本 信雄さん(78歳)
元滋賀県警察本部 警備部長